

平成27年度 第4回栃木県支部役員会 議事録

日 時：平成27年7月12日（日） 10時～12時20分

場 所：まちぴあ 研修室A・B

1 役員出席状況

出席者：菅井俊郎、小黒幸市、黒須重富、福田一郎、久芳良則、稲葉 茂、羽山定治、柳瀬宣義、土田 茂、宮下治、亀田則男、谷口雅昭、新井達雄、篠原正美、川上寛児、田仲喜一郎、松原 猛、西谷元則、（記録）

委任状提出者：羽山定治、亀田則男、谷口雅昭、宮下治、鈴木友幸、篠原正美

2 審議事項

(1) 新支部長決定と新組織について

- ・新支部長は小黒幸市氏に決定した。
- ・新組織(案)は旧支部長が作成し、本日役員の下承を得た。
- ・当支部には内規がない。支部会員の意見や要望を取りまとめ、既に作成された神奈川県支部内規を参考とし、本部と調整を図りながら内規を定めたい。
- ・第46回日韓技術士国際会議実行組織である日韓国際交流委員会は役員が交代した。このため代わった役員と県支部との関係・役割分担等を改めて協議する。
- ・役員会の出席は、幹事及び、田仲氏、菅井氏、柳瀬氏、さらにその都度関わった主たる担当者とする。ただし、幹事外の出席者は議決権を有しない。
- ・会員は、県支部委員会のいずれかに所属するように呼びかける。

(2) 日韓運営委員会の今後の進め方について

- ・日韓技術士国際会議の準備を進めており、組織案とスケジュールが決定した。
- ・今後は、運営委員会活動を活発化し、詳細に内容を決定していく。
- ・会議の内容は、毎月1回運営委員会が決めていく。

総務部会：予算案を作成し、その内容と原資について8月の本部会議で検討する。

晚餐部会：ホテル三日月で決定、今後具体的な内容を検討していく。

研修部会：いくつかの候補があり、具体的な内容を検討する。

サッカー部会：会場・審判員・交通手段等の目途がついてきた。

・会議事項：

テーマを公募、時期を早めに周知できないか検討する。出来ることなら春川の会議の場で発表したい。

役割権限を明確化する。

広報・スポンサーの検討。(県支部で開催した例がないので十分な検討が必要とされる)

韓国論文は、後で分かるように英文も併記するかを検討する。

第45回の日韓技術士国際会議は各自で申込みをする。3泊4日に参加したい方は、稲葉幹事がまとめている。

(3) 支部長、副支部長及び各委員会引き継ぎ事項について

個別に実施する。

- (4) 栃木銀行との『創業支援等にかかる業務提携・協力に関する覚書』提携について
- ・栃木銀行として創業支援（サポート）に対して力を入れることから、支部として提携のための覚書を交わすことのできた。
 - ・業務委員長が支部のルールに沿って責任者を経て企業支援する。
 - ・報酬は、未定でありこれから協議していく。本部には内容を報告する。
 - ・委員への業務周知の方法についてルール作りが必要である。
 - ・受託者名簿の作成を検討する。
- (5) 会員、協賛団体増加対策について
- ・各活動を会員にPRする。PRの方法を検討する。
 - ・協賛団体への強化を積極的に行う。
- (6) 講演会テーマと講師について
- ・今提案されている見学会・講演会を検討する。
 - ・本部農業部会では、10月30日に栃木県内で見学会を実施するため、参加者を募る。後日案内を同報メールで会員に送る。
- (7) その他：なし

報告事項：

- (1) 産総研福島再生可能エネルギー研究所見学報告
見学会の説明があった。実用化するための研究場であり、市貝町プロジェクトに適用できそうである。先生がボランティアで来町して頂ける予定。
- (2) 市貝町プロジェクト
商工会の女性部会と協議完了。今後青年部と打合せ予定。
- (3) 会報原稿について
1部を除く原稿は集まっているとのことで、8月末発行予定。
- (4) その他
- ・理科教育教室は3回実施要請あり参加予定
- | | | |
|-------|---------------|----------------|
| 9/13 | エンジョイカガク 2015 | 帝京大学 |
| 10/10 | 宮っこフェスタ | 宮っこフェスタ実行委員会 |
| 11/28 | 人づくりフォーラム | うつのみや人づくり推進委員会 |
- ・浙江省訪問団報告
- 2015年6月7日～12日栃木県支部として3名訪問した。

以上

議事録 署名人

支部長 小黒 幸市

議事録署名人 黒須 重富

議事録署名人 福田 一郎

書記 西谷 元則
